

第10課 過去の教訓 3月9日

1. 救いの計画から教訓を学ぶ

- ①ローマの信徒への手紙 15章4節。なぜ、聖書には、神様によるご自分の民への関わりの歴史が、とてもたくさん含まれているのですか？
- ②神様はその初めから、人間の歴史に活動的に関わって来られたことを認識することは、なぜ重要なのですか？

2. 詩編に記された救いの歴史

- ①詩編 78編—アサフの歴史的な詩篇
  - i) 詩編 78編 1～4、12～16節。
  - ii) 詩編 78編 43～48節。エジプトからの解放について、出エジプト記に記されていない、どんな新しい情報を学びますか？
  - iii) なぜ、アサフは、神様による超自然的な対策の栄光ある歴史に加えて、イスラエルの反逆の傷ついた歴史も記録するのですか？詩編 78章 19、40～41、56～58節。
  - iv) この詩編の結末を通して、どんなメッセージを読み取ることが出来ますか？詩編 78編 70～72節。
  - v) 私たちは、失敗を含めて、自らの歴史から、どんな教訓を学ぶことが出来ますか？
- ②詩編 105編—ダビデの詩篇（列王記上 16章 7～22節）
  - i) この讚美の詩篇の作詞の背景は、どんなものでしたか？列王記上 16章 1、7節。
  - ii) 詩編 105編 1～5節。この詩編の始まりから、どんなメッセージを聞きますか？
  - iii) 詩編 105編 13～15、16～24、25～36、37～45（上句）節。ご自分の

民のための主の対策について、この歴史的な詩編からどんな新しい情報を学びますか？

- iv) なぜ、ダビデはイスラエルの反逆と不信仰の行為を省略しているのですか？
  - v) この歴史的な詩編の結末の意義は何ですか？詩編 105編 45節下句（主を讚美せよ）
  - vi) 私たちは、主の憐れみと恵みのゆえに、彼を讚美するのにどれくらいの時間を費やしていますか？
- ③詩編 135編—無名の詩編記者。
- i) 詩編 135編 1～7節。このハレルヤ詩編の始まりにおいて、どんな出来事にハイライトが当てられていますか？
  - ii) 私たちのほとんどは、生物学的にヤコブの子孫ではありませんが、私達も主の「特別な宝」なのですか？ガラテヤの信徒への手紙 3章 29節、ペトロの手紙 2・2章 9節。
  - iii) 詩編 135編 8～12節。なぜ、この歴史は重要なのですか？
  - iv) 詩編 135編 13～21節。このハレルヤ詩編の結論について、どう思いますか？
  - v) 著者も状況も記されていませんが、この歴史的な詩編からどんな重要な教訓を学ぶことが出来ますか？